

各 位

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社

1300年の歴史を育む吉野山に伊藤忠アーバンコミュニティの社をつくる
“^{さくら}さくら咲競プロジェクト”・植樹イベントを開催いたしました

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 長田 邦裕）は、2013年4月5日（土）、吉野山（奈良県吉野郡吉野町）の伊藤忠アーバンコミュニティの社において、植樹イベント“さくら咲競プロジェクト”を開催いたしましたので、お知らせいたします。

■“^{さくら}さくら咲競プロジェクト”植樹イベント

今回で6回目となる本イベントは、当社が推進する環境保護活動の一環として毎年この時期に開催している恒例のイベントです。今年の植樹イベントには、当社の‘さくら咲競プロジェクト’にご賛同いただいた管理組合の組合員様34名にご参加いただき、昨年まで植樹をしたさくらが育つよう肥料を施しました。併せて採取したさくらのたねを30本分ポットに蒔きました。この種はやがて芽を出し、その後、山に移植され花を咲かせていきます。



当社では今後も、下草刈や施肥等苗木の育成などを行い、吉野山の景観の維持及び改善のために桜の保護活動を実施してまいります。



伊藤忠アーバンコミュニティの社で記念写真



苗木に肥料を施す管理組合員様



さくらのたねをポットに蒔きました

■^{さくら}環境保護活動“さくら咲競プロジェクト”概要

- 1) 趣 旨 約1300年前から人々の心のよりどころとして、日本の四季を彩ってきた吉野山（奈良県吉野郡吉野町）の桜が、病気や高齢化によって枯渇の危機にあり、一目千本と称賛されるこの景勝を次の世代に残したいと考え、当社の環境保護活動の一環として、吉野山に桜の苗を植樹し育成・保護する活動を実施。
- 2) 活動内容 吉野山の上千本（かみせんぼん）地区に位置する約600坪の土地に桜の苗木を植樹し、育成・管理する作業を助成。その場所を「伊藤忠アーバンコミュニティの社」と名づけ、後世まで桜が咲き競う場所であることを願い育てる環境保護活動。今回のイベントにより合計130本の苗木の植樹協力、30本分の種蒔きを実施。
- 3) 所 在 地 奈良県吉野郡吉野町吉野山1556
- 4) 助 成 先 財団法人 吉野山保勝会

以上

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 経営企画部 TEL 03-3662-5120 担当：川嶋・関根